

平成 24 年度第 1 回流山市地域包括支援センター及び地域密着型
サービス運営協議会

1 開催日時

平成 24 年 5 月 17 日（木）

午後 17 時 30 分から午後 20 時 40 分

2 開催場所

流山市役所 委員会室

3 出席者

委員

恵会長、大津副会長、奈良委員、鈴木委員、小山委員、安藤委員、
黒田委員、渡部委員、岩井委員、大久保委員、宮本委員、鈴木委員、
稲田委員、山田委員、池上委員

出席 15 名・欠席 1 名

4 議題

- (1) 地域密着型サービスの平成 23 年度事業及び現状報告について
- (2) 地域包括支援センターの平成 23 年度事業及び 24 年度事業について
- (3) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に係る事業者選考基準について
- (4) 地域密着型サービスの指定の基準の条例化について
- (5) 介護予防ケアマネジメント業務の一部委託の承認について
- (6) その他

5 議事（要旨）

- (1) 地域密着型サービスの平成 23 年度事業及び現状報告について
 - ・事務局より・・・23 年度の地域密着型サービスの実績について報告

地域密着型サービスの平成 23 年度の事業報告及び事業者 3 事業者

（認知症対応型共同生活介護 A 事業者、認知症対応型通所介護 B 事業者、小規模多機能型居宅介護 C 事業者）から現状報告

- ・ A 事業者・・・グループホームは 2 0 0 0 年頃には全国で 2 6 0 件という件数だったが、2 0 1 1 年には 1 1 , 0 0 0 件と増えている。流山市内でも、昨年まで 8 事業所だったが、4 月より 1 1 事業所となった。オープンしたがなかなか利用者が集まらないのが現状である。

また利用者の介護度は、平均 2 . 8 、平均年齢は 8 6 歳である。

- ・ B 事業者・・・この 1 0 年を振り返り、今までは利用者に恵まれ、宣伝、営業活動を行わなくても利用者が来てくれた。しかし 2 3 年度から様子が変わり利用者が定員を満たさなくなった。この 1 0 年でサービスの競争が激化し、利用者家族からのショートステイや時間延長などいろいろな希望があるが、今の体制では難しいのが現状である。
- ・ C 事業者・・・第 1 号の小規模多機能型居宅介護として活動してきた。住み慣れた地域・自宅・流山で暮らし続けていくことを応援するというのが絶対的な存在意義であると信じ、在宅でみなさんの生活を支えていくという高い志をもって、努力し、これからも継続していきたい。
- ・ 委員・・・グループホーム・認知症対応型通所介護の利用者の確保に苦勞しているようだ。入居に関しては、経済的な理由もあるだろうし、通所に関しては常々感じているが、認知の方が通常の通所介護に来ているが認知症の方がポツンと座っている。ご家族の考え方もあるが、通常の通所介護では、見落としてしまうようなケアを認知症対応型通常の通所介護であればケアが違うのではないか。またケアマネージャーの考え方で認知症対応型通所介護を勧めていただければ利用者も増えるし、認知症の人ご自身のためになるのではないかと思う。
- ・ 委員・・・デイサービスのお泊りというのが増えており、非常に手軽なコンビニみたいにデイサービスとお泊りを利用している。認知症対応型通所介護の利用者が増えないのはケアマネージャーの

責任もあるが、家族の強い希望、考え方が変わってしまっている。

- ・ 委員・・・認知症対応型通所介護では、少人数でたくさんの職員が関わり、良いサービスだと思うが認知症状があっても自覚のある認知症の方はプライドがあり、ケアマネージャーが無理やり通所介護から認知症対応型通所介護に誘導する事は難しい。また家族も望まない場合もある
- ・ 委員・・・施設の方が苦勞していることはわかった。施設に入り救われた人もいるが、全てが施設に入れば救われるとは限らない。グループホームの利用者が少なくなっているのは、認知症に対する対応が最初の思いとは変わってきているためではないかと思う。
- ・ 委員・・・国の施策によりグループホームは地域密着型サービスということで市民しかの利用できなくなったことが利用者が減って理由ではないかと感じている。
- ・ A事業者・・・グループホーム事業者として認知症の人の尊厳と人格を守って一生懸命やっている。
- ・ 会長・・・今までの話を踏まえて、事務局として何かコメントはありますか。
- ・ 事務局…それぞれの立場、目線でいろいろな意見をいただき必要なニーズと必要な情報提供、供給に結びつけるのが一番大切だと思っておりますので、行政も積極的に関わらせていただきながらこの事業がそれぞれうまく回転していくようにもっていききたいと再認識させていただいた。
- ・ 会長・・・ご意見は出尽くしていませんが、ここで1番目の議題を終了いたします。

(A、B、C事業者退席)

(2)「地域包括支援センターの平成23年度事業及び24年度事業について

各地域包括支援センターの職員から平成23年度事業報告及び平成24年度事業の説明

- ・北部包括支援センター・・・北部包括支援センターは、商店街の中にあるため年々来所者が増加傾向にある。平成24年度の重点目標として、もっと若い世代や高齢者を支える側の方に包括支援センターの存在を知っていただき、支援の必要な人に気づいて、センターにつなげていただくような仕組みづくりができればと思っている。そのためにも地域の若い世代の方に対する働きかけをやっていききたい。また、認知症の方が安心して住める町づくりのため地域の方に権利擁護の啓発を実施し、意識を持っていただき、認知症への理解も同時に広めていききたい。これらを重点的にやっていききたい。
- ・中部包括支援センター・・・高齢化率40%の地域とおおたかの森周辺の新しい地域の対照的な2つの地区活動を通して、まち単位の支援計画がいかに重要であるかを実感したので今年度も継続して活動していききたい。
介護予防教室の自主グループを作ったが、参加者自身の体の健康管理が精一杯なのでサポートしながら会を作っている。この予防教室の参加者が地域活動に発展するといいと思う。また、地域の支援ネットワークづくりを積極的に行い、地域包括ケアにつながる活動になると思うので、今年度は基盤を作る重要な年として活動していこうと思っている。
- ・東部包括支援センター・・・23年度については、自治会等の会合に参加して高齢化や見守り体制などの地域の実情、課題について意見交換を行った。課題としては、相談をどこにしていかわからず、包括支援センターの認知度にかかなり差があったので何かあれば相談できるような顔の見える関係づくりをして周知活動をしていききたい。また、地域で活動している医師との顔の見える関係を作りながら、何かあったら相談できるネットワークづくりを構築していききたい。認知症とともに暮らすまちづくりの会が3年になるが回を重ねるごとに参加者が増えている。
- ・南部包括支援センター・・・23年度は顔の見える関係づくりを目標に初めて各自治会長に参加を呼び掛けて地域連携推進会議を実施した。各自治会、地区社協等それぞれの課題を探る良い機会となった。24年度は共通課題として見守り活動を1年間テーマにして、

各自治会との顔づくりを継続し、支援を必要とする高齢者を早期発見し、地域包括支援センターの役割が機能できるよう地域包括ケアの基盤を作りたい。また、課題であった虐待対応については、チーム支援としてそれぞれの専門職の役割を明確にし、関係機関と連携しながら計画的に終結まで導くことができた。成年後見制度についてもスキルアップに努めていきたい。

- ・ 委員・・・地域密着型サービスと地域包括支援センターの事業報告を同じ運営協議会で実施しているが、問題が多く時間が限られているので事務局はバランスを考えてほしい。地域包括支援センターのスタッフの経歴、経験については、それぞれの包括支援センターでの経験年数なのか。また、包括支援センターの評価について、他市はもっと細かく出している。分析してレベルを上げていく必要があると思うが。
- ・ 事務局・・・職員の経歴については、包括支援センターに来て何年という年数である。包括支援センターの評価については、他市では細かくやっているという情報も聞いている。どのようにやっていくかは検討したい。
- ・ 委員・・・虐待についての具体的な内訳を聞きたい。
- ・ 北部包括支援センター・・・身体的虐待が圧倒的に多く、心理的虐待を併発している方が多い。
- ・ 中部包括支援センター・・・身体的虐待が多く、付随して心理的、経済的虐待が併発している。
- ・ 東部包括支援センター・・・身体的虐待が多く、それも単発ではなく心理的虐待と重なっている。経済面での相談も増えている。
- ・ 南部包括支援センター・・・身体的虐待が多く、重複しているものが多い。認知症の方の被害が多い。
- ・ 委員・・・難しい事例は本当に難しいが、虐待が起こりそうな事例に医師が行くことができないか、その場に医師がいることで事態の好転ないし悪化を防ぐことができるのではと考えている。
- ・ 委員・・・地域包括支援センターの資料について、様式を統一していただいたことでどこの包括支援センターがどこを掘り下げているのかなどわかるようになったと思う。昨年に比べてはるかに進歩し

た資料を提出していただいた。

- ・ 会長・・・昨年度からの提案が新規になって実現している。虐待のことを含めて虐待防止ネットワークの事例を上手に個人情報等に配慮しながら対応してほしい。
- ・ 委員・・・地域包括支援センターは24時間365日の対応となっているのか。
- ・ 事務局・・・月曜日から土曜日の午前中で業務を行っている。時間外など連絡を取れる体制を構築している。夜だからといって、市役所を含め包括支援センターも対応しないというわけではない。
- ・ 委員・・・包括支援センターも忙しいとは思いますが虐待、介護は24時間いつでもある。そのあたりの対応を考えてほしい。
- ・ 委員・・・各包括支援センターが地元の自治会、各種団体を通していろいろな事例を把握して、それぞれ努力している印象は受けた。より一層実在に合った包括支援センターのあり方を考えていかなければならないのではないか。
- ・ 会長・・・意見はまだまだ出尽くしていないが、これで終了させていただきます。

（各包括支援センター職員退出）

（３）「定期巡回・随時対応型訪問介護看護に係る事業者選考基準について」

- ・ 事務局・・・24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を公募制により導入するにあたり、事業者選考基準については現在検討中ではあるが、事業者の定着性、費用を含めてしっかりと計画して参入しようとしているか、地域包括ケアシステムの一員として、流山市の町づくりの一翼を担う意欲があるのか、また最近のテーマとしては災害時等の安全性などを重点に置きたいと考えている。
- ・ 委員・・・昨年までは、採算が取れないから募集がないだろうと言っていたがどうなのか。
- ・ 事務局・・・問い合わせの法人は複数ある。ただし、人員体制、拠点等はこれからという事業者で、今年度事業として募集するのでそ

ここに間に合う状態で応募してもらえるか心配である。仮に今回応募がなくとも一定の期間を置いた後、２５年度事業としてやってもらえるかどうか。その場合は準備ができ実現性が高いだろうと思う。

- ・ 委員・・・次点の事業者も選ぶようだが、次の応募の時は最優先となるのか。アンケートによると８１名が利用の可能性があるとになっているが、その中に高齢者住宅に入っている者はいないのか。
- ・ 事務局・・・優先はしない。ゼロからの評価となる。アンケートは無記名方式だったので、高齢者住宅に入っているかは確認できないが可能性はある。
- ・ 委員・・・こういった利用者は、入院か在宅かのギリギリの方が多い。始めたのはいいが、どんどん利用者が減る。減った場合に近隣市町村から利用者を受け入れるしかないのではないか。
- ・ 会長・・・今日の意見を踏まえて、事業者選考についてすすめていただくことでよろしいでしょうか。
- ・ 委員・・・異議なし

(４)「地域密着型サービス指定の基準の条例化について」

- ・ 事務局・・・先般スケジュールをお知らせしたとおり、１２月の市議会に提出する予定である。全てを条例として定めてしまうとやや柔軟性に欠ける可能性があるので、ポイントを絞って条例として定めていきたいと考えている。条例化にあたり、国で決めているルールを流山の特性を生かしてオリジナリティを織り込むか、既存のルールを一部変える工夫をするべきかご意見をいただきたい。
- ・ 委員・・・地震、災害等に対する対応を付け加えてほしい。
- ・ 委員・・・いろいろな意見を聞いてもなかなかまとまらないのではないかと思うので、骨格を定めて、後は市長決裁でよろしいと思う。
- ・ 事務局・・・根本的な部分を条例で定めて、次回、具体的に提示する形にしたい。またご意見もいただきたい。
- ・ 会長・・・本日、出された意見等を事務局で今後の作業に反映しながら基準づくりをお願いします。今後必要に応じてこの会議に提案してください。

(5)「介護予防ケアマネジメント業務の一部委託の承認について」

- ・事務局・・・介護予防ケアマネジメント業務の一部委託について、利用者優先に考えなくてはならないが、介護予防プランの質を落とさないためにも、委託についてもう一度確認、徹底したい。
- ・委員・・・今後検証が必要ですね。
- ・事務局・・・今後、きちんと計画がされているか、必要なサービスが提供されているか確認していきます。
- ・会長・・・この件につきまして、承認することよろしいでしょうか。
- ・委員・・・異議なし

(6)「その他」

- ・事務局・・・次回は7月中旬に開催を予定しています。詳細については、通知します。会議のボリュームが多くなっているのもので、事務局の方でも地域密着型サービスと地域包括支援センターについて、今後会議を分けて実施することを検討していきます。
- ・会長・・・報告や、現場の人を呼ぶ時は、時間がかかるので分けたほうがいいです。
- ・委員・・・いつも分けるのではなく、計画やまとまった計画を聞くときは分けたほうがいいです。
- ・会長・・・以上で本日の協議はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。